回　覧

生活安全だより　2026年 10月号

～千葉県内の自転車が関係する交通事故の状況～

令和７年中の県内の自転車が関係する交通事故の発生状況は、千葉県警の調査結果から以下のとおりとなっています。

【自転車が関係する交通事故発生状況】

◇　自転車の交通事故発生状況：２,８９５件（前年比－１２１件）
◇　死者数：１９人(前年比＋２)
◇　負傷者数：２，８０６人（前年比－１４２人）
◇　「自転車」対「車両」の事故　：２，６７６件
◇　「自転車」対「人」の事故　：１２５件
◇　「自転車」対「自転車」の事故　：７６件
◇　自転車が第１当事者の事故　：３０６件（うち死亡事故６件）

※　特徴

・自転車対車両の事故が全体の約９割を占めており、このうち、出会い頭の事故が約５割を占めている。
・自転車が第一当事者の事故では、すべて自転車側に何らかの違反があった。
・高校生は、他の年齢層と比較して第１当事者の割合が高い（約１７%）。

【自転車事故の原因別】

・安全不確認　：１１８件
・前方不注意　：５３件
・動静不注視　：５０件
・信号無視　：１１件
・指定場所一時不停止：１６件

自転車に乗ったらあなたもドライバー

※　特徴

自転車乗車中の違反で安全運転義務違反（安全不確認・前方不注意・動静不注視）で約７割を占めている。

【ヘルメット着用率】

◇　自転車乗車中の死者・負傷者のヘルメットの着用率は１４．６%で、令和６年（１５．１%）より着用率が低下した。

◇　年齢層別のヘルメット着用率は、中学生が最も多く（３６．９%）、高校生が最も低いが（９．４%）、着用率は全体的に上昇傾向である。

裏面あり☞

侵入窃盗に備えましょう！

戸建て住宅や集合住宅等に侵入し金品等を盗む「侵入窃盗」の中で、留守宅を対象とするものを「空き巣」、就寝中を狙うものを「忍び込み」、家事中などの隙を狙うものを「居空き」といいます。「侵入窃盗」は時として強盗等の凶悪事件に発展する恐れがあります。自己の生命・身体・財産を犯人から守るため、日頃から防犯対策をしっかり行いましょう。

防犯対策

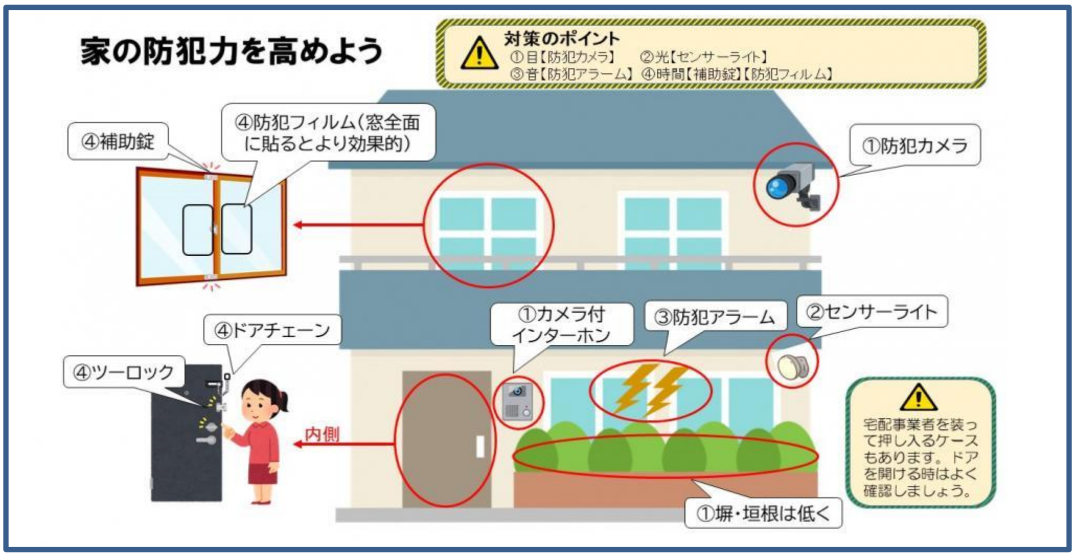
○　外出や就寝時はもちろんのこと、在宅時であっても、出入口や窓の施錠を確実に行う習慣を身につけましょう。

○　防犯性能の高い鍵や防犯ガラスに交換したり、補助錠を取り付けるなど、犯人の侵入を防止しましょう。

○　長期不在の場合は、郵便物の不在届や新聞の配達止めを行うことで、郵便受けに郵便物等を溜めないようにして、犯人に不在を悟られないようにしましょう。

○　防犯カメラやセンサーライトの設置、警備会社のセキュリティサービスの導入など、防犯環境の向上を図りましょう。

○　自宅付近で、普段見慣れない人が徘徊しているなど、不審と思われる人（車）がいたら、迷わず１１０番通報しましょう。


家の防犯力を高めよう
対策のポイント
①目【防犯カメラ】　②光【センサーライト】
③音【防犯アラーム】　④時間【補助錠】【防犯フィルム】
④補助錠
④防犯フィルム(窓全面に貼るとより効果的)
①防犯カメラ
④ドアチェーン
④ツーロック
内側
①カメラ付インターホン
③防犯アラーム
②センサーライト
宅配事業者を装って押し入るケースもあります。ドアを開ける時はよく確認しましょう。
①塀・垣根は低く

〈連絡先〉

茂原市役所　市民部　生活課
℡　０４７５－２０－１５０５（月～金　９：００～１６：３０）